

平成27年度「地域共生プロジェクト」実践概要

1 学校の概要

本校は、機械科・電気システム科・建設工学科の3学科で、各学年1クラス計9クラスからなる全校生徒238名（男子234名・女子4名）の工業高校である。

2 実践のねらい

地域の施設等を訪問したり学校にお迎えしたりして、様々な世代の人たちとの交流体験を通して、思いやりの心を育み、地元を愛する心を育てる。

3 実践の内容

(1) バラ園交流（5月29日）

本校内にあるバラ園にて、毎年バラ観賞会を開催し、地域の方々に喜んでいただいている。このバラ園に多賀幼稚園の園児たちを迎え、建設工学科2年の生徒たちが、昼食会等の交流を行った。美しいバラの花のもと、園児たちは目を輝かせ、本校生徒も花と園児に触れ合い、優しい笑顔を見せていた。



(2) 運動会交流（9月30日）

本校の運動会に多賀幼稚園の園児たちを招待し、ダンスとかけっこを披露してくれた。かけっこでは本校希望生徒が園児とペアになり、前半は手をつなぎ、後半は背負ってゴールした。



(3) お店屋さんごっこ交流（10月14日）

電気システム科2年生が幼稚園の行事「お店屋さんごっこ」にスタッフとして参加して交流を行った。本校生徒が5種類の「お店屋さん」（お菓子釣り屋・くじ引き屋・ジュース屋・アイスクリーム屋・たこせん屋）の店主になりきり、楽しく交流ができていた。



(4) 奉仕活動交流（10月16日）

ア 機械科3年生が多賀幼稚園で、園児との遊びを通じた交流を行った。その後、幼稚園内の除草作業を行い、園児、生徒ともに楽しい時間を共有することができた。この行事は毎年行っており、幼稚園側からは大変大きな期待と感謝が寄せられている。



イ 建設工学科3年生が養護老人ホーム（道前荘・石燧園）へ出向き、施設内の清掃や車椅子の洗車作業などを行った。作業の後は、ねぎらいの言葉もいただき、充実した活動であった。

ウ 電気システム科3年生が市内にある西条市東予学園で、除草作業を行った。当日は好天に恵まれ、東予学園側からは、日頃取り組めない場所の清掃ができた大変感謝された。



4 成果と課題

幼稚園との交流体験では、生徒も最初は消極的であったが、時間とともに、参加した生徒全員が積極的に活動をすることができるようになり、幼稚園側からも感謝の言葉をいただいた。しかし、他の奉仕活動等では、やや積極性に欠ける場面や他の生徒に任せてしまい、消極的な活動に終わってしまう生徒も見られた。今後は、地域から求められているものを考え、主体的に活動できる生徒の育成を目指したい。